



横浜訓盲学院 だより

第56号 (2022年11月号)

2022年10月31日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL: <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail: jimu@kunmou.jp

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710

理療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833



学院長 笹野 信治

創立記念日に寄せて

今年は、9月26日(月)の創立記念日に記念礼拝を行うことができました。本校の創立は、1889年(明治22年)ですが、その後、日本各地に私立盲学校が誕生しました。1920(大正9)年には、全国の盲学校78校の内、実に68校が私立盲学校でした。しかし、多くは公立化され、現在、私立の盲学校は、横浜訓盲学院1校だけになってしまいました。横浜訓盲学院も何度も公立化の話があったようですが、創立者の意思を大切に受け継いでいこうと、経営も苦しい中、私立の道を歩み通しました。

近年、社会環境は大きく変わってきています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大、地球温暖化による気候の変化、少子化、AI(人工知能)などの技術革新の発達などに伴い、私たちを取り巻く環境も変化してきています。企業はもとより、学校教育においてもその変化に対応したあり方が求められるのではないのでしょうか。

先日、あるラジオ放送で、京都大学主催のイノベーションに関する研修会での話が紹介されました。京都にある300年も続く老舗の西陣織の経営者は、今では着物だけでなく欧米の高級車の内装に使われる織物を手がけているそうです。そして、改革を進めるときに、縦糸がぶれなければよい。その縦糸とは、伝統、経営理念であり、横糸を時代や状況に合わせて変化させていくことが大切であると語っていました。これは、横浜訓盲学院にも当てはまるのではないかと思います。横浜訓盲学院における縦糸は「キリストの愛に基づいた教育」という教育理念があり、創立以来一貫して大切にされてきたことです。これからも、子どもたち、保護者の皆様、教職員がお互いに、一人ひとりを大切に、丁寧に愛を持って接していくことを縦糸に据えて横糸を織りなし、一つの「神の家族」として成長していきたいと思います。



「わたしたちに必要な糧を今日与えてください。」

マタイによる福音書第6章11節

《11月の聖句》何でもかんでもほしいのではなく、本当に必要なものだけを与えてくださるようにと祈りましょう。

理事長就任挨拶

このたび、5月31日付けで理事長に就任しました、村瀬道雄です。神奈川県内の公立養護学校、盲学校の教員・校長を務めた後、横浜訓盲学院の教頭、そして学校法人の理事として学院運営に携わってまいりました。

横浜訓盲学院は、幼稚部の子どもたちから小学部、中学部、高等部普通科と、生活科、さらに50歳を超える大人や感慨深げな盲導犬まで在籍している理療科など、様々な年齢の方々が在籍しておられます。

「人は人で磨かれる」と言われます。皆さんも様々な人びとと出会い、様々な人びとと交わり、話し合い、わかり合って、ともに成長していただきたいと思います。

皆さんの成長を心よりお祈りし、わたしたち教職員も含めて、みんなで成長できるように願っております。

私は道であり、真理であり、命です。(ヨハネによる福音書第14章6節)



7月25日(月)

幼小グループ 夏まつり



7月25日(月)、幼小グループの夏のイベントとして「夏まつり」を開催しました。当日、子どもたちは甚平を着て登校し、可愛い姿で夏まつりを盛り上げてくれました。縁日コーナーではスーパーボールと水風船すくい、ファームコーナーではおくらやミニトマト、ピーマンの収穫、工作コーナーではうちわづくりをしました。おかしやおもちゃもたくさんもらい、みんなとても嬉しそうな笑顔がみられました。

今年は盆踊りではなく、「みんなアロハ」を踊ってハワイ気分を満喫しました。保護者の方たちも見に来てくださり、学校での子どもたちの活動を発表できる場にもなりました。夏の楽しい思い出になりましたね。



7月26日(火)

高/生グループ 夕涼み会



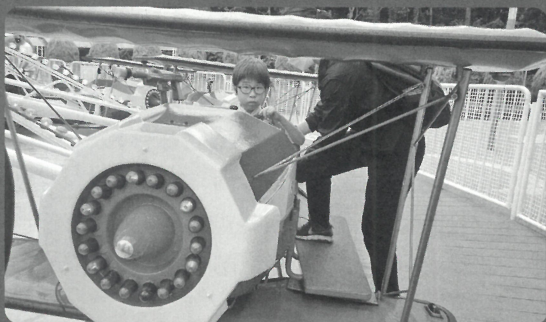
7月26日(火)に高/生グループの夕涼み会が行われました。今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策をした上での、実施となりました。

登校後、水遊びを行いました。水の入った袋の上に座ることや、水風船を握ったり、投げたり、たらいのプールに入ったりと、生徒それぞれが水遊びを楽しんでいました。晩御飯はホットモットのお弁当を食べました。今年は「からあげ弁当」か「しゃけ弁当」のどちらかを夕涼み会説明会の日に試食し、選んでもらいました。そして生活科の生徒の代表が弁当の数を集約し、お店へ注文しに行ってくれました。最後は夏の風物詩、花火を楽しみました。手持ち花火を楽しみ、最後に打ち上げ花火を全員で鑑賞しました。充実した夕涼み会となりました。

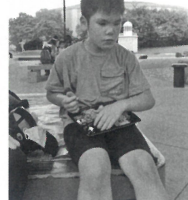


9月7日(水)

幼小グループ 遠足



9月7日(水)、幼小グループ小学部は秋の遠足で八景島シーパラダイスに行きました。到着して海を背景に、みんなにっこり記念写真を撮ることができました。運行状況により乗れない乗り物もありましたが、メリーゴーランド、レッドバロン、フライトイーグルにみんなで乗ることができました。券売機ではお財布からお金を出して乗り物のチケットをみんな買うことができました。そして、楽しみにしていたお弁当とお菓子もみんなで仲良く食べ、お腹いっぱいになりました。朝やスクールバスでの移動中は少し雨が降っていましたが、活動中は快晴で最高の遠足日となりました。



9月14日(水)

小 / 中グループ 縁日



小中縁日が9月14日(水)に行われました。コロナの影響で二度も延期になりましたが、一人も欠けることなく、全員そろっての開催となりました。

当日は甚平や浴衣など夏の装いに身を包んで、屋台の前で記念撮影をするなど、お祭り気分を味わっていました。ヨーヨー、的当て、チョコバナ



ナ、わたあめの屋台を3グループに分かれて順番にまわりました。何回も的当てをしたり、わたあめをお代わりしたり、お菓子やおもちゃをたくさんもらったりして、にこにこ笑顔の子どもたち。過ぎゆく夏を惜しむように、みんな全力で楽しんでいました。



お風呂の温度と入浴時間

肌寒い日々が増えてくると体を芯から温めてくれるお風呂に長く浸かりたくなります。しかし、お風呂のお湯の温度やお湯に浸かる時間は体調などによって変えた方が効果的です。

例えば、42～43℃程のやや熱めのお湯は交感神経を刺激するので、血管が収縮して血流量が減少します。そのため体の表面温度は上がっても芯までは温まらず、血圧や心拍数が上昇します。これから仕事をしたいときや、頭をすっきりさせたいときに5分くらい浸かると効果的です。

一方、37～39℃程の少々ぬるめのお湯は血流を促進させるため、体が芯から温まり、湯冷めもしにくくなります。ストレス解消やリラックス、疲労回復の効果があり、安眠したいときの入浴法としても効果的です。

入浴時間の面から注意したいのが乾燥肌です。長時間、お湯に浸かると毛穴が開き、水分が蒸発して肌が乾燥してしまいます。寒い朝に熱いお湯で顔を洗うと肌がカサつくことがあります。長風呂もこれと同じです。また、熱いお湯に長く浸かると脱水症状をおこすこともあるので、十分な水分補給を行うことにも気を付けましょう。

視覚障がい

ミニ知識

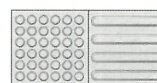
視覚障害者誘導用ブロック

今や町中あちらこちらで目にすることができる点字ブロックは、正式名称を「視覚障害者誘導用ブロック」といい、今から55年前に岡山県立岡山盲学校の近くに初めて設置されて、そこから日本中へ、さらには世界中へと広がったものです。

点字ブロックには大きく分けて2種類の形状があり、それぞれ「誘導ブロック(細い線状の突起が平行に並んでいるもの)」、「警告ブロック(丸い点状の突起が並んでいるもの)」といいます。移動の方向を示す「誘導ブロック」と危険な場所や目的地などを表す「警告ブロック」はそれぞれ目的に沿った場所に敷設されていて、視覚障がい者は点字ブロックから得られる情報を活用しながら歩行しています。

点字ブロック上に自転車や駐車車両、看板などがあつたり、歩きスマホの人に気づかずにぶつかつたりして、事故やけがにつながることもあります。駅のホームや踏切に点字ブロックが敷いてあつても、ホームや踏切の内側と外側を勘違いして起きる悲しい事故が後を絶ちません。迷った様子の人や危ない状況を見かけたら、ためらわずに一声かけていただくことが事故を未然に防ぐことにもつながります。

(参考文献: 江東区広報(こうとう区報掲載コラム)、日本視覚障害者団体連合HPほか)





助成金贈呈式

9月13日(火)、「みずほ教育福祉財団」様より助成金の贈呈式が本校で行われました。同財団の塚本隆史理事長と上田靖常務理事が来校され、目録をいただきました。今年度の助成金で、「訓練用三輪車」を購入することができますことに感謝いたします。

「みずほ教育福祉財団」様は、昭和47年に設立され、初等中等教育や社会福祉関係への様々な助成を行われています。なお、全国の特別支援学校への支援は今回で41回目になります。

あたたかいご支援・ご配慮を頂きまして、誠にありがとうございます。

臨床実習のご案内

★あんま・マッサージ・指圧・はり灸★
〔水・木・金曜日〕



当学院の理療科では、授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり・灸の臨床を行っています。是非ご利用下さい。

料金

一律 1,000円

時間

10:00～(50分)

◆ご予約はお電話で! 当日の朝 8:50～9:15

電話 **090-9009-5882**

◆お問い合わせは理療科まで

電話 **045-662-1833**

※新型コロナウイルス感染の状況により変更される場合があります。

【2022年度後期の主な行事予定】

- 11月** 7日(月)～10日(木) 普通部 学校公開
14日(月)～18日(金) 理療科 オープンキャンパス
- 12月** 3日(土) 普通部 第1次入学検定
24日(土) クリスマス礼拝・祝会
26日(月)～1月6日(金) 冬休み
- 1月** 14日(土) 理療科 第1次入学検定
- 2月** 25日(土) あん摩マッサージ指圧師国家試験
26日(日) はり・きゅう師国家試験
- 3月** 17日(金) 2022年度卒業式・修了式

◎2022年度生徒募集◎

【普通部】 幼児・児童・生徒募集

○募集定員

幼稚部(3歳児・4歳児・5歳児)……………計6名
小学部……………1年生4名
中学部……………1年生4名
高等部普通科……………1年生4名
高等部専攻科生活科……………1年生4名

○募集期間

《一次》2022年10月21日(金)～2022年11月18日(金)
《二次》2023年 1月10日(火)～2023年 2月17日(金)

○入学検定日

《第1回検定日》2022年12月3日(土) 午前9時～
《第2回検定日》随時。

【高等部理療科】 生徒募集

○募集定員

高等部専攻科保健理療科(3年課程)……………1年生4名
高等部専攻科理療科(3年課程)……………1年生8名

○募集期間

《一次》2022年10月21日(金)～2023年1月6日(金)
《二次》2023年 1月17日(火)～2023年3月3日(金)

○入学検定日

《第1回検定日》2023年 1月14日(土) 午前9時～
《第2回検定日》随時。出願書類提出後、調整のうえ試験日を定め実施。

【お問い合わせ】

TEL.045-641-2626(代表)

◎ご協力のお願い◎

(2022年度 賛助会員)

私どもの視覚障がい教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願い申し上げます。

【年会費】 法人(1口)10,000円/個人(1口)1,000円(口数は問いません)

【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金

【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
寄付金控除については「所得控除制度」と「税額控除制度」のいずれかの制度をご利用いただけます。

【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626